

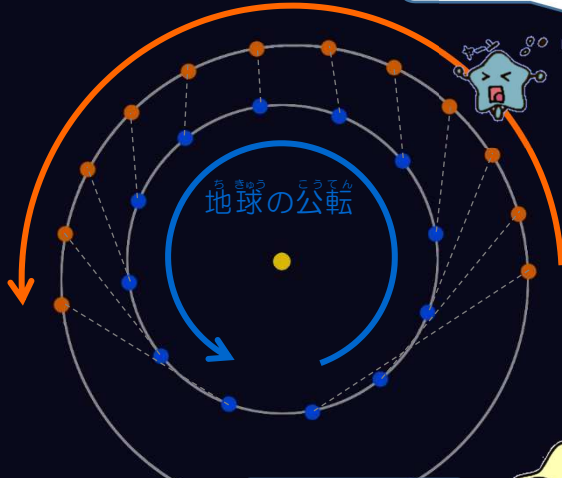
星空の交差点

火星が15年ぶりの大接近！

地球のひとつ外側を回る火星が、7月31日に、約15年ぶりに地球に大接近します。今回は、近くて遠いお隣の惑星、火星についてご紹介します。

●地球と火星の追いかっこ

火星の公転

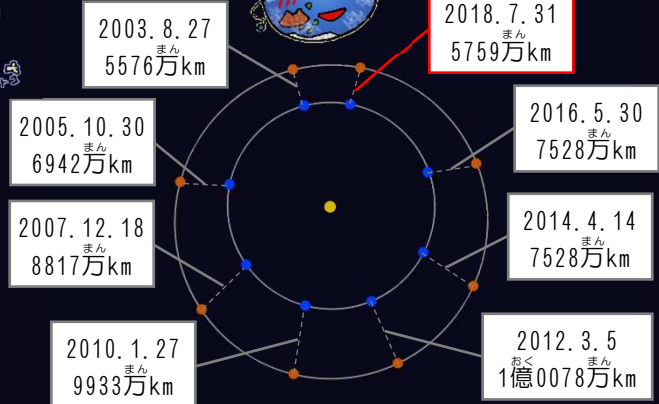


内側を回る地球の方が早いね！

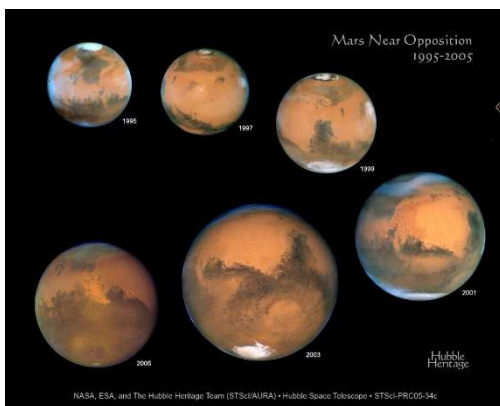
追い越す時がいちばん近い

●大接近と小接近

だいたい2年2か月ごとに近づくよ

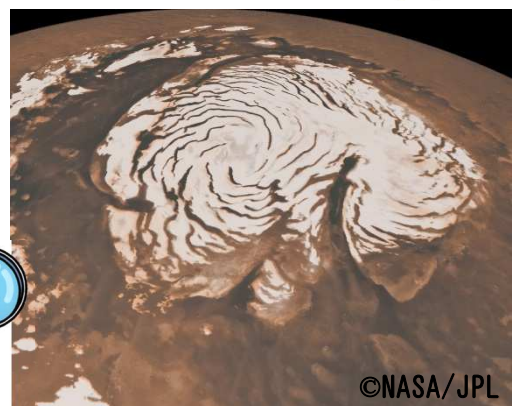


火星の軌道がまん丸じゃないから場所によって距離が違うね！



同じ接近でもずいぶん大きさが違う！

火星の北極。白く見えるのは氷なんだって！



7月の22時ごろ南東の空に赤く輝いている星が火星です。大接近といっても、新幹線で22年もかかる距離ですから、望遠鏡を使わないと表面の様子は見ることはできません。8月中旬ごろからはテラ・ドームのスターウォッチングでも見られます。ぜひお越しください。

★特別観望会 大接近の火星を見よう！★

大接近している火星のほか、金星、木星、土星も見ることができます。

日時：7月31日(火) 19:30~21:30 (火星は 21時ごろのぼってきます)

場所：テラ・ドーム

※ 参加無料です。申し込みもいりません。

※ 曇りや雨の場合は中止です。





●「宵の明星」金星の輝き

最近、太陽が沈んで暗くなるころ、西の空にとても明るく光る星が見えます。「宵の明星」の別名を持つ金星です。

金星は地球のひとつ内側を回る惑星で、地球から見ると太陽の近くを動き回っているように見えます。太陽の左側にある時は、太陽より後に沈むので夕方に見えますが、太陽の右側に来ると、太陽より先にのぼる「明けの明星」となります。

今年は9月ごろまで宵の明星として夕空に輝きます。毎月中旬ごろには三日月とならんで輝く様子が楽しめます。



にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

●木星、土星を見よう

太陽系の惑星で最も大きい木星が、5月中旬ごろから見やすい位置にやってきます。望遠鏡では、表面の縞模様や、木星を回る4つの衛星を見ることができます。

そして、立派な輪をもつ天体観測の人気者、土星は7月中旬ごろから見やすい位置にやってきます。望遠鏡では神秘的な輪やいくつもの衛星を見ることができます。

テラ・ドームの夜のスターウォッチングで、惑星たちの姿をぜひお楽しみください。



にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

●7月28日(土)夜明けの皆既月食

1月31日に満月が地球の影に入る「皆既月食」が起きましたが、7月28日未明にも再び起こります。午前3時24分ごろから欠け始め、午前4時30分ごろ皆既となりますが、このころにはすでに空が明るく、月が低いため赤い満月の姿を見るのは難しいでしょう。西の空が開けたところで、観測にチャレンジしてみてください。28日の夜ではなく、夜明け前ですのでお気を付けください。

2016年1月31日の皆既月食



にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

●近づいてくる火星を見よう

7月31日に最も地球に近づく火星ですが、5月には真夜中ごろ、南東の空ですでに明るく輝いています。地球に近づくにつれ次第に明るさを増し、最接近のころには木星よりも明るくなります。赤く輝く姿はかなり目立つでしょう。ぜひ、火星が近づいてくる様子を眺めてみてください。同じ条件で写真を撮り、明るさや位置の変化を記録すれば立派な観測になりますね。

2016年の火星



にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

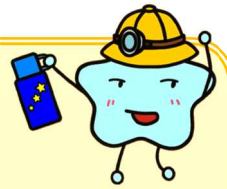
星空の宝石箱⑨ 春の夫婦星(うしがい座のアークトゥルスとおとめ座のスピカ)

春の夜、北の空高く7個の星がひしゃくの形に並んだ北斗七星があります。ひしゃくの柄のカーブを伸ばした先にある黄色い1等星がうしかい座のアークトゥルスです。さらにカーブを伸ばすと、南の空に光る白い1等星、おとめ座のスピカが見つかります。北斗七星からスピカまでの大きなカーブを「春の大曲線」と呼びます。2つの1等星は、色の対比が美しいことから春の夫婦星とも呼ばれます。



にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

テラ・ドームみどころ紹介



西脇周辺の魚コーナー



テラ・ドームでは、西脇周辺の川や池などでみられる魚を飼育展示しています。

水面から見ると魚の姿は見えにくいのですが、水槽では魚の模様や形などがとてもよくわかります。

皆さんは、何種類の魚がわかりますか？



へそ公園周辺の植物

ニワゼキショウ(アヤメ科)

ニワゼキショウは、白当たりのいい草むらや芝生などでみられ、5月から6月ごろにかけて花を咲かせます。写真のような赤い花のほか、白い花のものもあります。よく似た種類にオオニワゼキショウがあり、少し小さいめの薄紫の花を咲かせます。へそ公園の芝生でたくさんの花が咲くと、まるで星をちりばめたようでとてもきれいです。



にしわぎ経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

☆テラ・ドームクイズ☆

第1問

テラ・ドームのテラって何？

- ①お寺
- ②ギリシャ語の「へそ」
- ③ラテン語の「地球」



第2問

テラ・ドームの建物を設計した人は？

- ①横尾忠則 ②磯崎新 ③毛綱毅嘯

第3問

テラ・ドームのぐるぐるめだまの建物の中は何？

- ①天文台
- ②プラネタリウム
- ③トイレ



第4問

次のうち、テラ・ドームにあるのはどれ？

- ①日本のへそ石
- ②世界のへそ石
- ③宇宙のへそ石



イベント情報

感覚のふしぎ展

私たちは手で触るだけでその材質や温度、重さなどを瞬時に知ることができます。また、平衡感覚や足の裏の感覚により、地面の傾きや段差などを感知し、転ばないようにバランスをとっています。展示を通して、人間の体に備わった高性能センサーのひみつを探ってみましょう！



- ★ 3月21日(土)～6月24日(日)
- ★ 場所：テラ・ドーム企画展示室
- ★ 入館料だけで見られます。

テラ・ドームギャラリー

5月 武井咲予まあるい星展
6月 みんなの天体写真展
7月～8月 自然写真シリーズ展



★ ギャラリーのみの見学は無料ですが、展示室の見学には入館料が必要です。

ギャラリーご使用についてのお問い合わせはお気軽にテラ・ドーム(0795-23-2772)まで。

土曜ちょこっとサイエンス

テーマは「体感」。昔々の火おこし体験や、バルーンアートなどで、科学の不思議を体感しよう！

★毎週土曜日 14:00～16:00

★内容は週ごとにかわります



テラ・ドーム25周年記念イベント

テラ・ドームは6月1日に25周年を迎えます。これからたくさんの科学の種をまいていきたいと願い、イベントを行います。ボランティアによるいろいろな工作・体験ブースが並びます。ぜひご参加ください。

★6月2日(土) 13:00～16:00

※ 参加無料です。入館料もいりません



- 開館時間 10:00～18:00
- 休館日：月曜日・祝日の翌日(土日祝は開館)
- 入館料：大人510円・学生200円・小中学生100円

子ども科学教室

身近な材料を使った実験や工作で科学のふしぎを体験しよう！入館料だけでどなたでもご参加いただけます。



日曜・祝日 13:30～・15:30～

- 5/3・4 きれいなかざぐるまをつくろう
- 5/5・6 ストロークロケットをとばそう
- 5/13・20 のぼり虫をつくろう
- 5/27・6/3 偏光まんげきょうをつくろう
- 6/10・17 ぴよんぴよんがえるをつくろう
- 6/24・7/1 アメンボスイスイ
- 7/8・15 虹スコープをつくろう
- 7/16・22 段ボールマグネットをつくろう
- 7/29・8/5 ふしぎ!?ういたりしずんだり

夜のスターウォッチング

81cm大型反射望遠鏡でいろいろな星を見てみよう！

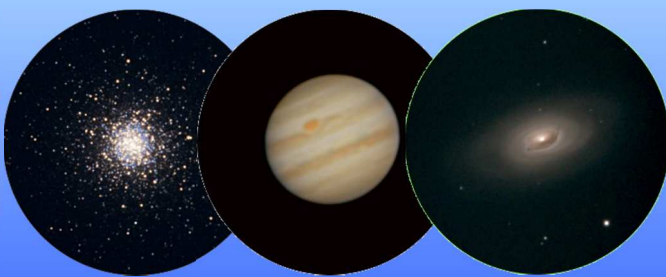


★土曜日・祝前日 19:30～21:00

★1人200円(幼児は無料)

★要電話予約(当日でも可)

※ 悪天候の場合はプラネタリウムと星のお話です



みどころ：木星(5月中旬から)、アークトゥルス、球状星団M3、黒眼銀河M64 など

テラ・ドーム通信「星空の交差点」

2018年5月号

にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

TEL 0795-23-2772

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/terra/>